



平成30年度  
看護学生のための  
地域医療体験研修 報告集

研修日 平成30年8月1日(水)～8月2日(木)

福島県会津保健福祉事務所

福島県南会津保健福祉事務所

# 目 次

1	実施要項	1
2	スケジュール	2
3	特別養護老人ホーム福柳苑見学及び介護体験	3
4	通院患者へのインタビュー、看護職との意見交換	5
5	地域おこし協力隊との交流	7
6	学生によるディスカッション	8
7	看護職との懇談	9
8	受診同行、診療所の概要説明と見学 医師との懇談	10
9	研修のまとめ、発表	12
10	参加者の体験談	15

# 1 実施要項

## 1 目的

地域医療に関心を持つ看護学生に対して、地域医療の見学や看護職等との意見交換、また、地域の文化やそこで暮らす住民と直接触れ合う場を提供することにより、過疎・中山間地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日 平成30年8月1日（水）～8月2日（木）1泊2日

## 3 対象者

会津管内の看護学校に在籍し、地域医療に関心を持つ学生（高校生を除く）

## 4 参加者

9名（会津准看護高等専修学校 1名、竹田看護専門学校 8名）

## 5 内容

（1）地域医療を担う医療現場（高齢者施設含む）を知る

奥会津地域の医療現場を見学し、地域医療への理解を深める。

〔見学予定先〕福島県立宮下病院、特別養護老人ホーム福柳苑（柳津町）

只見町国民健康保険朝日診療所（只見町）

（2）地域で働く看護職等の実情を知る

看護職等との意見交換や懇談を通じて、地域で働く看護職等の生の声を聴くことにより、地域医療を支える看護職への理解を深める。

（3）地域で生活する人の現状を知る

通院患者との面接により、疾患を持ちながら地域で生活している人々への理解を深めるとともに、地域おこし協力隊との交流を通じて、過疎・中山間地域における生活の現状について理解を深める。

## 6 宿泊場所 ゆの宿松屋

（住所：只見町大字只見字新町 2064 電話 0241-82-2290）

## 2 スケジュール

月日	時間	行程	場所
	9:00	会津保健福祉事務所 集合	9:15 出発
8月1日 (水)	9:15~10:00	移動 (会津若松市→柳津町)	
	10:00~13:30	特別養護老人ホーム「福柳苑」見学 施設の概要説明、入所者との交流及び 食事介助などを体験	福柳苑(柳津町)
	13:30~14:00	移動(柳津町→三島町)	
	14:00~16:00	通院患者へのインタビュー、 看護職との意見交換 地域おこし協力隊との懇談	県立宮下病院(三島町)
	16:00~17:00	移動 (三島町→只見町)	
	17:00~18:30	学生によるディスカッション	ゆの宿松屋(只見町)
	18:30~20:00	看護職との懇談(夕食)	↓
	8月2日 (木)	7:00~ 8:45	朝食・準備
8:45~10:00		移動、通院患者との懇談	
10:00~12:00		受診同行、診療所の概要説明と見学	只見町国保朝日診療所
12:00~13:00		昼食(医師と会食)	↓
13:00~14:30		研修まとめ(グループワーク、発表)	↓
14:30~16:30		移動 (只見町→会津若松市)	会津保福 16:30着
16:30		会津保健福祉事務所 解散	





### 3 特別養護老人ホーム福柳苑 見学及び介護体験

【日時】 8月1日(水) 10:00~13:30  
【場所】 特別養護老人ホーム福柳苑(所在地:河沼郡柳津町大字飯谷字前林甲370)  
【目的】 施設の概要や見学、利用者とのコミュニケーション、スタッフとの意見交換を通して、過疎・中山間地域での介護施設の取組や高齢者の生活状況を理解する。

#### □ 施設の概要説明、職員との懇談及び質疑応答



(出席者) 目黒施設長、田中主任生活相談員、荒川主任看護員

#### □ 七夕の飾り付けをしながら、入所者との交流

交流センターで利用者の方々と一緒に飾り付けを行いました。和やかな雰囲気の中、無事飾り付けが終わり、みんなで七夕様の歌を歌いました。



きれいに仕上がりました

□ 2班に分かれて入所者との交流及び介護体験

< A 班 >  
食事介助、交流



< B 班 >  
ラジオ体操、食事介助、交流



【参加者の声（事後アンケートより）】

- 交流、食事介助を体験して、楽しさや大変さが分かりました。
- 食事介助をさせてもらい、貴重な体験でした。
- 特別養護老人ホームで働いていたことがあるため、施設の様子や職員の方が働いている姿など、とても懐かしかったです。地域（柳津）に住んでいる方やそうでない方、様々な方がいることや、100歳近い方や超えている方が4～5人いるなど、施設の概要を詳しく説明してもらえて良かったです。

## 4 通院患者へのインタビュー、 看護職との意見交換

- 【日時】 8月1日(水) 14:00~15:30  
【場所】 福島県立宮下病院(所在地:大沼郡三島町大字宮下字水尻 1150)  
【目的】 ①通院患者へのインタビューを通して、へき地で医療を受ける人への理解を深める。  
②病院の概要説明から、へき地病院の持つ役割について知識を深める。  
③地域医療に従事する看護職から、地域医療に対する考え方や体験談などを聞き、地域医療への理解を深める。

### □ 病院長あいさつ

浅野病院長からご挨拶をいただき、森澤事務長、齋藤看護部長から病院の概要について、説明を受けました。



### □ 病院の概要説明

### □ 通院患者さんへのインタビュー

3グループに分かれて、お話を伺いました。





## □ 看護職との意見交換

看護師としてのやりがいや魅力、高齢者と接する際に意識していること、キャリアアップ等、たくさんのことを教えていただきました。

(出席者) 齋藤看護部長、佐藤専門看護技師、伊藤専門看護技師、舟木主任看護技師  
児島副主任看護技師、島田副主任看護技師



### 【参加者の声（事後アンケートより）】

- 通院患者さんの人柄も良く、楽しくお話ができました。
- 患者さんの状況を直接聞くことができ、苦労や生活形態についても感じることができました。
- 看護師さんのお話は、学ぶことが多かったです。
- 地域密着の病院ということで、患者さんと看護師の関係性が近く感じました。昔からの顔なじみの人もいると伺い、看護師さんも一度三島町を離れても、学んでからまた戻ってきて地域のために働いていることが素晴らしいと思いました。



## 5 地域おこし協力隊との交流

【日時】 8月1日（水） 15：30～16：00

【場所】 福島県立宮下病院（所在地：大沼郡三島町大字宮下字水尻 1150）

【目的】 奥会津地域で生活し、活動している地域おこし協力隊から、活動の内容や生活をしていく上での困っていること、助かっていること等話を聞くことで、過疎・中山間地域での生活の現状について理解を深める。

三島町地域おこし協力隊の常盤達彦さんから、活動の紹介や三島町での生活、住んでの印象などお話があり、その後意見交換を行いました。



### 【参加者の声（事後アンケートより）】

- 三島町の現状を知ることができ、地域おこしのイベントなどを行っていることを知り、興味深かったです。
- 地域おこし協力隊という活動がどんなものなのか分かっていなかったもので、知ることができて良かったです。その方々に、奥会津地方の良さを分かってもらえ、発信してもらえて、とても良かったと思いました。
- 話がとてもおもしろく、楽しく聞くことができました。

## 6 学生によるディスカッション

【日時】 8月1日（水） 17:00~18:30

【場所】 ゆの宿松屋（所在地：南会津郡只見町大字只見字新町 2064）

【目的】 「地域における医療の現状について、気づいたこと」をテーマにディスカッションを行い、地域医療についての見識を深める。

「地域における医療の現状について、気づいたこと」をテーマに、黒田主幹の進行で、スタッフも含めて、意見や感想を話し共有しました。

まず個人で感想を書き出し皆で発表し、同じ意見をグループ分けしました。看護師の役割や姿勢に関すること、地域医療で大切なこと、奥会津での生活に関すること等多くの視点からの意見が出されました。



【参加者の声（事後アンケートより）】

- 人それぞれ感じ方の違いを知ることができ、他の人の意見を聞いて納得することも多くありました。
- みんなの前で話をするには抵抗があったけれど、人前で話す良い練習になりました。
- 意見をグループ分けすることで、より理解が深まりました。
- 一人一人の発表だと時間がかかると感じました。しかし、みんなの意見を聞き、さらに理解を深めることができ良かったです。

## 7 看護職との懇談

- 【日時】 8月1日(水) 18:30~20:00  
【場所】 ゆの宿松屋(所在地:南会津郡只見町大字只見字新町2064)  
【目的】 地域医療に従事する看護師から、地域医療に対する考え方や体験談などを聞き、意見交換を行い、地域医療の見識を深める。

ゆの宿松屋にて、只見町国保朝日診療所の本名副看護師長、渡部主任看護師、大竹看護師に参加いただき、地域医療に対する考えや体験談などを聞き、意見交換をするなど、貴重な体験となりました。



### 【参加者の声(事後アンケートより)】

- 楽しくお話をしながら学ぶことができました。
- 訪問看護の様子やどのような経緯で診療所で働くようにしたのか聞くことができ良かったです。看護師の人材不足で、訪問看護は十分に入ることができない現状が分かりました。
- 時間はちょうど良かったが、もう少し自由にお話ができると良かったと思います。

## 8 受診同行、診療所の概要説明と見学、 医師との懇談

【日時】 8月2日（木）8：45～13：00

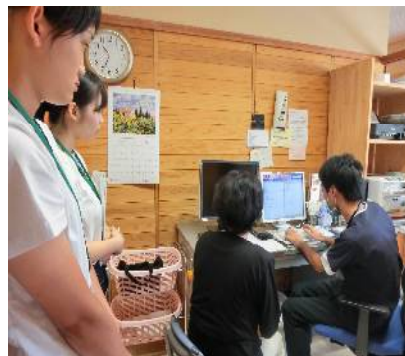
【場所】 只見町国民健康保険朝日診療所

（所在地：南会津郡只見町大字長浜字久保田 31）

- 【目的】 ①受診予定者宅を訪問し、医療の現状や住民の考えを聞き、地域の実情について理解を深める。また、受診までの過程に同行することで、日常生活を送る上での大変さ等を体験すると共に、コミュニケーション能力を養う。  
②診療所の概要説明及び施設見学、医師との懇談を通して、へき地診療所の持つ役割について理解を深める。

### □ 受診同行

受診予定者のご自宅を訪問。日常生活の様子や医療の現状等お話を伺った後に診療所まで同行しました。診察、薬の受け取り等一連の流れに同行させていただきながら、いろいろお話をお聞きしました。



### □ 診療所の概要説明

若山院長から説明を受けました。



### 【参加者の声（事後アンケートより）】

- ・診療所はとても小さいイメージでしたが、大きくてきれいで驚きました。
- ・受診同行させていただいた方は、診療所で知り合う人や友達が来ているということで、待ち時間もお話しされていて楽しそうでした。
- ・長時間関わることで、より多くの患者さんを知ることができました。
- ・在宅看護を見学したかったです。



## □ 医師との懇談

若山院長、森医師から朝日診療所の魅力や勤務体制、医師を目指したきっかけ等お聞きしました。



### 【参加者の声（事後アンケートより）】

- 一日の流れや仕事内容を知ることができて良かったです。懇談の内容ではありませんが、診察時の医師の対応が丁寧で、生活の様子まで聞いていたのが印象的でした。
- 全員の医師や保健師になるきっかけを知ることができて良かったです。
- 楽しくお話を聞きながら食事ができました。
- 医師の方と交流ができて参考になりました。

## 9 研修まとめ、発表

- 【日 時】 8月2日（木）13：00～14：30  
【場 所】 只見町国民健康保険朝日診療所  
（所在地：南会津郡只見町大字長浜字久保田31）  
【目 的】 地域医療体験研修に参加して感じたこと、学んだこと等をまとめ、発表する。  
【内 容】 テーマ 「私たちのめざす看護」

### ○研修のまとめ、発表

「私たちのめざす看護」と「その実現のために何が必要か」を、黒田主幹の進行で2グループに分かれ、ディスカッションしました。朝日診療所 五十嵐看護師長に参加していただきまとめを発表しました。



### 【参加者の声（事後アンケートより）】

- 2つのグループに分かれて発表したことで、重なる部分が多くあり、大切なことがどんなことなのか分かることができました。
- テーマは難しかったのですが、他の人の意見も聞くことができ勉強になりました。

グループワーク:Aグループ  
テーマ「私たちのめざす看護」

患者さんの意志を尊重する

患者さんとの距離が近い

患者さんに寄り添う

看護師のスキルアップ

地域への理解

そのために  
必要なこと

スタッフの  
心の余裕

コミュニケーション  
能力

共感力  
理解力

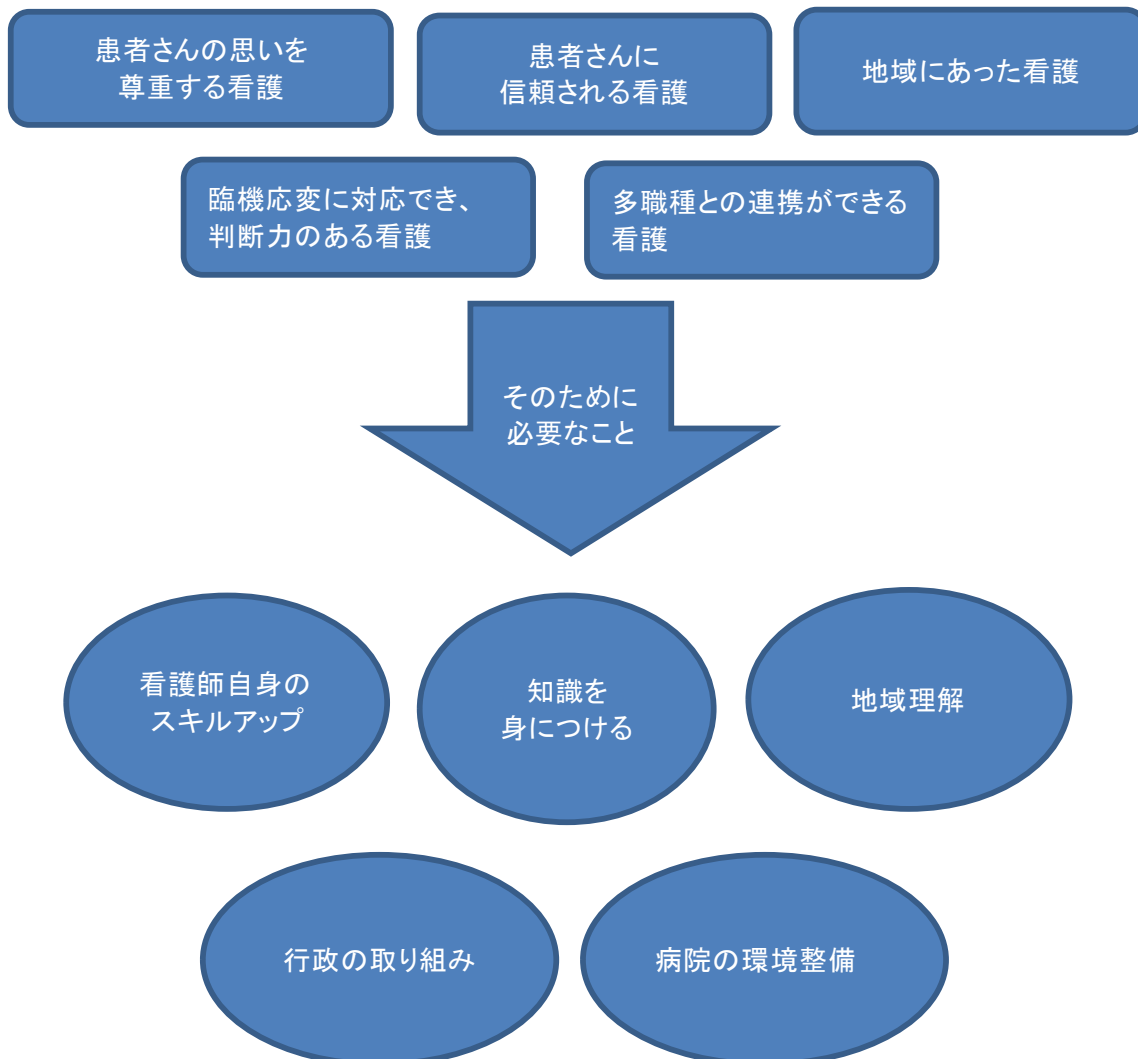
行政の施策

疾病予防  
健康増進

病院に  
行きやすくする



グループワーク: Bグループ  
テーマ「私たちのめざす看護」





## 10 参加者の体験談

### 〔体験談①〕

奥会津地域と会津若松では環境が違っていました。近くに買い物をする場所がなく、タクシーや自分たちの車で移動して買い物に行かなくてはならない環境で、奥会津に住む方々はたくさんの工夫をして生活していました。その地域の個性が出ていて、とてもやわらかい雰囲気もあり、暮らしやすそうでした。この地域の方々は、一人一人密接な関係にあり、互いに支え合って暮らしていて、良い環境にあると思いました。

### 〔体験談②〕

2日間とても勉強になりました。県立宮下病院の看護師の方からのアドバイスで、「今は大変なことも多いけれど『自分のため』に今は頑張っただ勉強をして、将来は『誰かのため』にそれらを生かせるようになるといいですね」というお言葉をいただいて、学生生活の励みにしようと思いました。今回学んだへき地医療の実態を、将来看護職で生かしたいと思います。

### 〔体験談③〕

特別養護老人ホームの研修が特に勉強になりました。利用者の方々とお話したとき、わたしが何度話しかけてもうなずくだけで、あまり会話がはずみませんでした。でも、高齢者への接し方や介護の現状を知ることができて勉強になりました。また、食事介助は初めて体験させてもらい、これからの学内実習にとても役立ちました。2日間ありがとうございました。

### 〔体験談④〕

へき地医療に実際に触れ、看護師の仕事の幅が広がり、大変なこともあるけれど、患者さんとの距離の近さや、患者さんの「満足している」という意見などを聞いて、大きな病院にはない良いところがたくさんあると思いました。看護師さんが親身になって患者さんの話を聞いているところを見て、わたしもそのような看護師になりたいと思いました。この体験を将来看護師になった時に生かしていきたいと思います。

### 〔体験談⑤〕

「地域医療」という言葉を聞いたことはありましたが、詳しく聞いたり、実際に見たりすることはありませんでした。今回実際に地域の病院や診療所を見学し、知識を深めることができ良かったです。ほとんど同じ学校の学生でしたが、グループワークを通して、改めて看護師になろうと思ったきっかけや求められている看護への考え方がわかって良かったです。そして求められている看護は、皆だいたい考えが一緒に、同じ方向・目標に向かい進んでいるということが理解できて良かったです。看護師として働く場所は色々あることが分かりました。とても楽しく有意義な体験（経験）となりました。

### 〔体験談⑥〕

特別養護老人ホーム福柳苑では、利用者の方とコミュニケーションをとって、七夕の飾りをつけたり、食事介助を行いました。スタッフの方からは、これまでの出来事や利用者の事情などたくさんのお話を聞かせていただきました。宮下病院では、通院患者さんにインタビューし、病院の使い心地や看護師の対応についてお話を聞くことができました。他にも、地域おこし協力隊の方のお話を聞いたり、学生同士のディスカッションはとても有意義なものでした。次もこのような機会があれば参加させていただきたいと思える内容でした。



平成30年度 看護学生のための  
地域医療体験研修 報告集

---

平成30年 9月 発行



福島県 会津保健福祉事務所  
福島県 南会津保健福祉事務所  
総務企画部 総務企画課  
電話番号 0242-29-5506  
F A X 0242-29-5509  
aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp